

北山エリア整備に係るワークショップ（2回目）意見

テーマ：府立大学共同体育館に望むこと

<もっとスポーツを楽しむためにどんなコンテンツがあればうれしいか>

【1班】

- ・ 会社の人たちとレクリエーション的なスポーツもできるといい。予約をとりやすいといい。
- ・ いつでも行ける、いつでも予約がとれるといい。
- ・ ジムやプール。運営時間が長いといいけれど、大学の中にあるものに、長時間営業を求めるのは違うと感じている。
- ・ 車イススポーツをするために貸し出し車イスがあるとうれしい。車イススポーツは、健常者も一緒にみんなのできるなので、車イススポーツの聖地になれるかもしれない。

【2班】

- ・ メイン目的だけでなく、メイン3時間プラス、何か多目的な事をして、大人も子どもも楽しめる施設になるといい。
- ・ 集団での利用だけでなく、個人での利用でも、チームを組んでゲームもできるといい。
- ・ 子どもたちは、種々のスポーツを経験したいと思うので、「○曜日の□時にはコレができるよ」というような企画をして欲しい。
- ・ 大規模施設だけでなく中小規模の施設もあった方がいい。大学の施設なので、常設の観客席をなくして、壁収納やせり上がり式の、最小限の移動式客席にすればいい。
- ・ アンケートを取って利用者からのフィードバックを受けて、常に改善し、作ったら終わりでない、常に進化する体育館になって欲しい。
- ・ 年齢層にかかわらず色々な種目を見たい。
- ・ プロのスポーツを生で見たり、プロ選手に教えてもらったり、支える側のチアリーダー教室を実施するなど、プロスポーツを身近に感じられる場所になって欲しい。

- ・ 国体・国際大会を実施できる規模、すばらしい施設でありながら、例えば、京セラドームで草野球ができるような、市民スポーツもできる場になって欲しい。
- ・ 抽選の行列に参加するための登録が必要で、さらに並んで抽選するなど、使う時の手続きのハードルが高い施設がある。このやり方でなければという思い込みがあるのではないか。スマホアプリで予約できるようにするなど、使いたい人が使いやすい仕組みを検討して欲しい。
- ・ 団体でないと使えないのはハードルが高い。1人でも参加できる工夫をして欲しい。
- ・ 体育館が雨天のときは体操場にもなるといい。屋根が開く体育館もいいのではないか。
- ・ 共同体育館は、全体図や案内表示もして、使いやすい仕組みにして欲しい。

【3班】

- ・ 大き過ぎる会場は、席が遠いと見えなくなる。
- ・ 360°カメラで撮影し、Web配信ができる仕組みを入れて欲しい。京都ならではの最新技術を活用して欲しい。例えば、自分のフォームは自分ではわからないので、無料で自分のスイングを撮ってくれたり、仕事で来られない保護者に配信したり、学生の映像研究とコラボしたりして欲しい。
- ・ マーチングを上からも見ることができる客席があるといい。
- ・ 学生と大人と一緒に練習すると、モチベーションもアップすると思う。
- ・ アプリで管理すれば、若者も高齢者も、自身の成長も見ることができる。
- ・ プロのホームグラウンドみたいないい設備で、プロも来るとうれしい。でも、プロだけでなく、一般の人も使える設備であることが重要。
- ・ 大学生と一般社会人で、ガチ勝負をしたい。
- ・ Web配信で撮った自分たちの試合を見て乾杯したい。

- ・ 南側から入りづらく、ガレージが少ない。地下駐車場にすれば、貯水槽として災害時に使えるのではないか。
- ・ ドーピング検査できる設備があるといい。
- ・ テニスの草トーナメントなど、草レベルのサークル大会をできる場所がないので、できたらうれしい。
- ・ 予約が気軽にできるように、メインのほかに複数のサブエリアがあるといい。
- ・ 荷物が多いため、北山駅直結の出入口が欲しい。
- ・ 子どもから高齢者までが座りやすい観客席があるといい。
- ・ 京都府北部など京都市外からの住民は、常に満車なので車で行かない。車でも行きやすいような整備をして欲しい。
- ・ マイナースポーツは、世界に出られれば世界を飛び回ってお金を稼げるが、大会に出るまでが大変。府民やベンチャーで選手を支える仕組みを京都からスタートし、マイナースポーツが活躍できる場になるといい。
- ・ 野球やeスポーツなどをドローン配信したり、一般利用できる食堂を運営したり、キャンプ体験ができるようにしたり、ロープで飛び回るジップラインやレスキュー隊の訓練設備、高いジャングルジムなどをつくったり、ソーラーパネルで発電したりできるとよい。すべて京都の企業のもので固めると、宣伝効果もありそう。
- ・ 災害時などの食事難民用に、自販機や売店を設置したり、京都府ご当地名産を置いたり、大学生協を移転してもいいのではないか。
- ・ 高校のマーチングや座奏の聖地になればいい。練習などの音漏れで演奏が聞こえてくれば、植物園利用者も来たくなるのではないか。
- ・ オンオフできる機能のついたガラスで、体育館の中が見えるようにしてもいい。
- ・ 植物園の芝生を移植したら、こけても痛くない。
- ・ 小・中・高・大学生と大人が交流できる場所になるといい。
- ・ 産官学で、京都の強みを魅せる場所になるといい。

- ・ 息子の試合もここでできたらうれしい。
- ・ テニスの国際大会は、兵庫や大阪で開催されており、京都は観客席付きの体育館がないため、実施できない。
- ・ 高齢者のスポーツ、筋トレなど、もっと充実できたらいい。
- ・ 地下スペースを災害時対応に使えないか。

<見るスポーツをもっと楽しむために、どんな機能があるとうれしいか>

【1班】

- ・ 見る席を、プラスチック製だけでなく、もっとゆったりしたものになるといい。
- ・ サッカーとか野球は見る機会が多いので、親しみがある。他のスポーツも見る機会が増えると、もっと親しまれるようになるのではないか。
- ・ オリンピック、世界陸上などは、芸術といってもいい。トップクラスののを見たいと思う。
- ・ 2階からも1階からも見ることができたり、選手目線で見られたりする席もあるといい。
- ・ ICTを活用して、自分のプレーを画面で見られるといい。大学スポーツもうまくなるのではないか。

【2班】

- ・ 巨大モニターなど、eスポーツをやれる設備があるといい。
- ・ 広島マツダスタジアムのファミリーエリアのように横になって見られる仕組みを導入すると、普段来ない、親子連れなどの層を呼び込める。どんな人が来ていないかを調べてみてはどうか。
- ・ 選手目線の映像をオンボード中継できないか。俯瞰や床面映像など、自分では体験できない光景が見られるなど、見せ方の工夫をすることで、よりエンターテイメントになる。

<このエリアにある大きな屋内空間で、どんなことがしたいか>

【1班】

- ・ 屋根がある屋外と、体育館が合体していると、いろいろ使えそう。土足のままでOKな、車イスでもそのまま入れるエリアをつくったり、ガラスなどで歩道と分離したりしてもいい。屋根がある外に、雨にぬれない砂場もつくれる。
- ・ 雨でも雪でもOKなので、スポーツはもちろん、フリーマーケットなどのイベントをする場所になってもいい。
- ・ 大学の施設としてどう考えているのか、大学側のビジョンを聞きたい。一方で、京都府内に大きな大会ができるようなスポーツ施設は少ないという、京都府全体の課題があるのは理解できる。ただ、それを、植物園や府大があるアカデミックな文教ゾーンである北山エリアでやることについては、違和感がある。岡崎や梅小路とは違うと思う。

【2班】

- ・ 町中でのドローン練習ができそう。
- ・ 墜落防止ネットを張って、サッカーを上から見るのもおもしろい。
- ・ 運動会を開催したい。暑さ対策や雨対策にもなる。
- ・ 最先端の建物ができたらいい。

<大学の中に、府民に開かれた共同体育館があることで、 どんなことができそうか>

【1班】

- ・ 建物は小さく、学生が使えるぐらいのサイズで十分。広場をオープンスペースにすれば、外でディスカッションもできる。
- ・ 賑わいだけを求めるのは違うと思う。北山は学際的なエリアであって欲しい。
- ・ 教室もあるといい。イベント開催までのプロジェクトを、学生と一緒にできる場所として、プロジェクトルームのような感じで使いたい。

- ・ 大学生、地域の人、一緒に新しいスポーツ、ルールを考えるような場になって欲しい。今、障がい者の人も楽しめるように、どうしたらいいかみんなで考えて、実現しようとしているので、例えばそういうことがここでできたらいい。
- ・ ニーズはわかるが、大きいイベントを呼ばなくてもいいのではと思う。オリンピックができるような大きなものじゃなくていい。
- ・ 建物だけではなく、キャンパス全体として考え、広場、森を大切にしつつ、他の地域のモデルとなるような外部環境をつくって欲しい。そしてキャンパスという場全体を、府民も利用できたらうれしい。
- ・ 体育館というより研究スクエアみたいな方が使い勝手がいいかもしれない。その中にスポーツができる場所も入っていて、それも研究フィールドになっているというイメージ。今あるものを活かしつつ、新チャレンジもできる場所になるといい。
- ・ 府大は、植物園の横といういい環境にあり、on the job で学べる教材が転がっている状態。大学生にとっては、研究も実践もできる場になるはずなのに、府大はどう考えているのかが見えない。特に、地域連携、政策連携など、自分たちの役割をどのように考えているのか伝えて欲しい。もっと主体的に考えていったらいいのに、もったいないと思う。
- ・ 北山のエリアマネジメントを担うのは府大ではないのか。エリア全体を大学として考え、芸術施設、文化施設のマネジメントもできたら、めっちゃめっちゃいい学びのフィールドになるはず。
- ・ 地域に開けた大学というのであれば、北山だけでなく、京都府全体に開くにはどうしたらいいか考えて欲しい。
- ・ 京都の空気感や京都らしさの保存、市民がやっていることなどを、大事にして欲しい。山に見える空間、余白があることも重要。京都の景観に寄り添って欲しい。京都市とつながってやって欲しい。

- ・ 地方でプロスポーツを振興すること、市町村で草の根でスポーツを広めること、その両方を育む必要がある。地域スポーツ振興は都道府県ではなく市町村単位でやるもの。京都市と連携してやって欲しい。京都府が肩代わりしなくてもいいのではないか。
- ・ 府大がある北山エリア一帯を、大切に整備して欲しい。
- ・ 京都府の中で、府大の役割が決まってくるはず。大学生のスポーツで使う以外に、この中で、府大として何をやるのかを打ち出して欲しい。